

課題 1 1 . 他施設、他機関との連携状況（含大府養護学校との連携）

（ 1 ）地域支援活動・他施設との連携

保健センターを中心とした地域支援・地域研修等の地域連携活動として、

- a. 地域や行政で主催される小児保健に関する専門家による会議への参加（委員としての活動）
- b. 地域で主催される専門家や一般県民への研修会・講演会の講師
- c. 虐待の地域ネットワークへの支援として、地域主催のネットワーク会議でのスーパーバイザーとしての参加
- d. 市町村の乳幼児健診に対する視力検査等の技術支援
- e. 各施設機関の要望による、慢性疾患児や軽度発達障害児等についての療育・療養のためのケース会議での支援
- f. その他

などの地域支援活動を実施、その実績は以下のとおりであった。

平成16年度地域支援活動実績

職種	活動人数												年間
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
医師	5	11	13	12	9	10	7	16	16	8	15	21	143
保健師	4	6	11	6	4	5	5	8	7	6	6	9	77
看護師	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	5
臨床心理士	2	3	6	6	6	2	6	3	3	0	3	1	41
言語聴覚士	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
視能訓練士	1	1	1	2	0	2	1	1	2	2	3	10	26
理学療法士 作業療法士	2	2	14	6	0	1	0	1	2	1	1	3	33
計	15	24	45	32	19	20	19	29	31	17	28	47	326

地域支援・連携活動実績は、平成 15 年度（239 件）に比して飛躍的に増加した。医師の活動実績数の増加（124%）、保健師の活動実績数の増加（171%）に加え、臨床心理士による地域の保育関係機関への支援、理学療法士・作業療法士による、療育機関や養護学校への支援が積極的に行われた。また虐待等を中心とした地域主催のケース会議、研修会講師の地域からの要請も多く認めている。

(2) 大府養護学校との連携

大府養護学校との連携では、各種会議やケース検討会、学校行事への参加や学校健診への支援システム等で調整し、連携を図り、児童、生徒の病院の治療と学校生活上の問題に対応している。

1) 大府養護学校とあいち小児保健医療総合センターの連携会議

a. 運営協議会

目的・内容	学校及び病院における児童生徒の療育および教育に関する基本的事項の調整を図る。
開催	年度当初、年1回程度
学校参加者	校長、教頭、事務長、部主事、主査
センター参加者	センター長、保健センター長、外科部長、循環器科部長、内科部長、看護部長、管理課長、保健室長
担当窓口	学校：教頭（加藤）、センター：保健室長（山崎）

平成16年度：平成16年4月14日（水） 9：00～9：20

b. 医教連絡協議会

目的・内容	病院の医療方針、生活指導等について、また学校の指導方針、教育課程等について相互理解を図るため連絡・協議する。
開催	年2回程度
学校参加者	校長、教頭、事務長、部主事、総務主任、教務部主任、生徒指導主事、保健体育部主任、進路指導部主任他
センター参加者	関係診療科代表：アレルギー科（伊藤）、腎臓科・泌尿器科（上村）、感染症・予防診療科（安藤）、内分泌科（濱島）、神経科（糸見）、心療科（小石）、小児外科（渡邊）、形成外科（鳥山）、整形外科（服部）、循環器科・心臓外科（安田）、薬剤部長（安達）、管理課長補佐（小木曾）、副看護部長（千速）、保健室長（山崎）、保
担当窓口	学校：教頭（加藤）、センター：保健室長（山崎）

第1回 平成16年5月20日（木）16:10～17:00

第2回 平成17年3月1日（火）16:10～17:00

c. 生活指導連絡協議会

目的・内容	児童生徒の学校、センターにおける生活上の課題や問題点について話し合い共通理解をはかり指導・支援に役立てるとともに、学校・センター間の連携を深める。
開催	全体を3回と、生徒指導部と1回計4回開催する。
学校参加者	学級担任、生徒指導部職員等
センター参加者	関係病棟看護師長、関係看護師若干名、心理指導科（大河内）、医療社会事業担当（大橋）、チャイルドライフ担当（原）
担当窓口	学校：生徒指導部主任（中村）、センター：医療社会事業担当（大橋）

第1回 平成16年5月14日（金）15:45～16：45

第2回 平成16年10月15日（金）15:45～16：45

第3回 平成17年1月21日（金）15:45～16：45

第4回 平成17年2月18日（金）15:45～16：45

d. 入退院検討会

入院しながら学べる環境作りのため、大府養護学校に通う患児については、センター職員と学校教諭との間で入院時に（退院時は必要に応じて）検討会を実施し、また随時カンファレンスを開催している。

目的・内容	大府養護学校に通学する児童・生徒の入退院を組織的かつ円滑に進めるため、随時開催する。
開催	随時、センター研修室など
学校参加者	校長、教頭、部主事、担任等
センター参加者	総合診療部長、内科系・心療科系部門医師の各代表者、看護部長、医療社会事業担当、主治医、関係病棟看護師長
担当窓口	学校：教頭（加藤）、センター：医療社会事業担当（大橋）

平成16年度：30回開催

延べ145名（アレルギー科3名、腎臓科10名、内分泌科2名、感染免疫科7名、心療科104名、小児外科2名、整形外科17名）に関連した検討を行った。

平成16年度 入退院検討会

	実施日時	入院予定者	その他の内容
第1回	平成16年4月2日(金)	入院患児:心療科18名	特になし
第2回	4月15日(金)	入院患児:心療科2名	心療科入院ケースについて
第3回	4月20日(金)	入院患児:心療科3名 腎臓科1名 免疫科1名	宿泊体験学習について
第4回	5月19日(水)	入院患児:心療科5名	特になし
第5回	5月21日(金)	入院患児:整形外科4名 免疫科1名	特になし
第6回	6月2日(水)	入院患児:心療科2名 アレルギー科1名	退院予定者:心療科2名
第7回	6月4日(金)	入院患児:腎臓科1名	退院予定者:免疫科1名
第8回	6月9日(水)	入院患児:心療科2名	心療科入院ケースについて
第9回	6月11日(金)	入院患児:内分泌科1名	特になし
第10回	6月25日(金)	入院患児:心療科2名 整形外科1名	退院予定者:内分泌科1名
第11回	7月13日(火)	入院患児:免疫科1名	特になし
第12回	8月27日(金)	入院患児:心療科21名 整形外科6名 腎臓科1名	特になし
第13回	9月2日(木)	入院患児:心療科6名	特になし
第14回	9月14日(火)	入院患児:心療科4名	特になし
第15回	9月24日(金)	入院患児:腎臓科1名 小児外科1名	受験生の受入について
第16回	10月6日(水)	入院患児:心療科2名 腎臓科1名 免疫科1名	特になし
第17回	10月14日(木)	入院患児:腎臓科1名	腎臓科入院ケースについて
第18回	10月19日(火)	入院患児:心療科1名 整形外科2名 腎臓科1名	病棟変更のある患児について
第19回	10月29日(金)	入院患児:心療科3名 小児外科1名	地元校とのカンファレンスについて
第20回	11月9日(火)	入院患児:心療科2名 腎臓科1名	心療科入院ケースについて
第21回	11月17日(水)	入院患児:心療科2名	特になし
第22回	12月7日(火)	入院患児:心療科4名 整形外科2名	整形外科入院ケースについて
第23回	12月21日(火)	入院患児:腎臓科1名 アレルギー科1名	腎臓科入院ケースについて
第24回	平成17年1月6日(木)	入院患児:免疫科3名 アレルギー科1名	特になし
第25回	1月12日(水)	入院患児:心療科6名	心療科入院ケースについて
第26回	1月14日(金)	入院患児:心療科7名	特になし
第27回	1月21日(金)	入院患児:心療科1名 内分泌科1名	特になし
第28回	1月28日(金)	入院患児:心療科3名 整形外科1名	整形外科入院ケースについて
第29回	2月15日(火)	入院患児:整形外科2名 腎臓科1名	整形外科入院ケースについて
第30回	3月15日(火)	入院患児:心療科8名	入院予定患児について

e. 事例検討会

目的・内容	一つの事例について医療面、教育面の立場から、対象事例を多面的に情報交換及び意見交換を行うことで、両者の共通理解を図るとともに、よりよい支援の方針を探る。
開催	隔月第3金曜日 14:30～16:00 センター地下研修室
学校参加者	関係部主事、自立活動部主任、担任、養護教諭、その他関係職員
センター参加者	関係医師、病棟看護師長、関係看護師、臨床心理士、医療社会事業担当、保健師、その他関係職員
担当窓口	学校：自立活動主任（吉田）、センター：医療社会事業（大橋）、病棟看護師

平成16年度 事例検討会

	実施日時	事例の概要
第1回	平成16年5月28日(金)	対応の難しい児童－広汎性発達障害の事例
第2回	6月25日(金)	対応の難しい児童－強迫性障害の事例
第3回	10月22日(金)	対応の難しい児童－解離性障害の事例
第4回	11月26日(金)	対応の難しい児童－広汎性発達障害他
第5回	平成17年2月25日(金)	LD児童および卒業を控えた患児の対応

f. 学校保健委員会

目的・内容	学校保健について問題を検討し、その実践を推進していくための研究協議と連絡調整を行う。
開催	年2回程度(5月・2月)
学校参加者	医教連絡協議会に同じ
センター参加者	医教連絡協議会に同じ
担当窓口	学校：保健主事(山本)、センター：保健室長(山崎)

第1回 平成16年5月20日(木) 16:10～17:00

第2回 平成17年3月1日(火) 16:10～17:00

2) 学校保健関連の連携活動

a. 定期健康診断：児童・生徒の定期健康診断

学校医：山崎(内科)、服部(耳鼻いんこう科)、都築(眼科)、加納(歯科)により実施された。

平成16年4月14日(水) 10:00～12:00 歯科検診

平成16年4月22日(木) 10:00～12:00 歯科検診

平成16年5月14日(金) 10:00～12:00 内科検診・結核検診・宿泊行事事前健康診断

平成16年5月18日(火) 11:30～12:00 眼科検診

平成16年5月24日(月) 10:00～12:00 内科検診・結核検診・宿泊行事事前健康診断

平成16年6月1日(火) 10:00～12:00 内科検診・結核検診・宿泊行事事前健康診断

平成16年6月3日(木) 10:00～11:30 耳鼻科検診

平成16年6月4日(金) 11:30～12:00 眼科検診

平成16年6月10日(木) 10:00～11:30 耳鼻科検診

b. 修学旅行、宿泊体験学習の事前健康診断。

学校医：山崎(内科)により実施された。

平成16年度：平成16年9月10日(金) 小学部修学旅行事前検診

c. 環境衛生検査

安達(学校薬剤師)により実施された。

平成16年6月23日(水) 13:50～15:00 給食の施設・設備、飲料水の施設設備

平成16年6月25日(金) 10:00～11:30、14:30～15:00 教室等の空気の検査、プールの施設・設備

d. 大府養護学校安全衛生委員会への出席ならびに職員の定期健康診断・健康区分判定。

大府養護学校健康管理医(山崎)により実施した。

大府養護学校安全衛生委員会

第1回 平成16年6月1日(火) 15:40～16:30

第2回 平成16年11月10日(水) 15:40～16:30

第3回 平成17年3月11日(金) 15:40～16:30

3) 学校行事・野外活動へのセンター職員の随伴等

平成16年度：

	日程等	随伴者	担当窓口
遠足	平成16年4月30日(金) 名古屋港水族館(名古屋市)	濱島医師 日紫喜看護師	センター:山崎 学校:生徒指導部主任(神)
野外活動 (小学部5・6年)	平成16年5月25日(水) アチェメックの森 大府養護学校運動場		センター:山崎 学校:小学部主事(濱畑)
中学部宿泊体験学習	平成16年5月27日(木)～ 平成16年5月28日(金) 静岡県(浜名湖花博・天竜養護学校等)	林看護師	センター:山崎 学校:中学部主事(高村)
高等部修学旅行	平成16年6月9日(水)～ 平成16年6月11日(金) 大阪市(大阪歴史博物館、なんばグランド花月、海遊館)	大須賀医師	センター:山崎 学校:高等部主事(森)
ベースランニング・ウォーキング会	平成16年11月5日(金)5時 あいち健康の森	当日医師がセンター内待機した。	センター:山崎 学校:自立活動主任(吉田)

小学部修学旅行(平成16年10月14日～15日の)については、職員の随伴がなかった。

4) 進路個別相談等の実施

a. 進路希望調査

個々の生徒の進路希望に対して主治医の所見を記入。

高等部：4月と10月の2回、中学部：5月と10月の2回、各生徒毎に実施した。

b. 進路個別相談会

センター参加者：主治医、病棟看護師長、担当看護師

学校参加者：部主事、担任、進路指導部

5) 大府養護学校体験入学会における個人別医療相談

年2回程度(10月 11月頃)の体験入学会にあわせて実施される。

相談担当：保健室長等センター医師、医療ソーシャルワーカー

平成16年度：平成16年10月8日(金) 14:00～15:30

平成16年11月19日(金) 14:00～15:30

6) センター入院児童・生徒の生活面での連携

以下の活動に対して、各主治医、看護師長・病棟看護師等が医療上の意見を述べて円滑な運営に協力した。

a. センター入院児童・生徒の毎日の健康状態の連絡

- 1) 指示箋：転入時や変更時に学習度等を主治医が記入し、看護師がチェックしてファックスで連絡。
 - 2) 保健調査：新年度や転入時、宿泊する行事の事前健康診断の資料としても利用するため、現在の症状や薬物等のアレルギー、緊急時の対応の指示を主治医が記入し、保健室長経由で学校へ連絡。(概ね年2回程度)
- センター入院児童・生徒の欠席、日々の病状変化に応じた運動量(0～5)の変化・学習度(1度～6度)の変化に対して、センターと学校とのLAN等を利用した病棟からの連絡に基づいて、養護教諭が職員室黒板に記入し、養護学校内の円滑な情報共有に役立っている。
- 遅刻、早退、診察等の中途変更は専用内線電話を活用して担当看護師から学校保健室へ連絡されている。

b. 学校外活動等についてのセンター(主治医・病棟)への連絡

内容・対象学年等	担当窓口
産業現場等における実習(希望就職先での実習体験、高校2～3年生等が対象)	センター：病棟看護師長 学校：進路指導主事(伊藤)
就業体験(総合学習の一環、高等部全員)	センター：病棟看護師長 学校：高等部担当者
郊外実習(保育所実習等)	センター：病棟看護師長 学校：家庭科担当者(牧)
模擬試験、体験入学、学校見学会等への参加	センター：病棟看護師長 学校：担任
英語検定試験 漢字検定試験	センター：病棟看護師長 学校：担任

特別の配慮が必要な場合は、学校側の担当から主治医に照会の上で連絡

c. センター入院児童・生徒の体力テスト、運動会、水泳、ベースランニング・ウォーキング会、修学旅行、宿泊体験学習等への主治医への確認

センター窓口担当：保健室長
学校窓口担当：保健体育部

d. センター入院児童・生徒の家庭科調理実習の連絡

センター窓口担当：関係病棟の各看護師長
食事制限、配慮が必要な場合は、主治医の照会の上で指示
学校窓口担当：家庭科担当者(牧)

7) その他の連携活動

- 平成16年6月25日(金) 石ヶ瀬小学校との交流会(石ヶ瀬プレイランド)
平成16年7月28日(水) 平成16年度第1回医教連携セミナー 参加104名
講演 東 誠「心身症の子どもへの理解」
実践事例・意見交換「心身症の子どもへの支援について」
平成16年8月31日(火) 平成16年度第2回医教連携セミナー 参加179名
講演 大河内治「ADHDの子どもへの理解と支援」
実践事例・意見交換「ADHDの子どもへの支援について」

- ・センター内学習室へのインターネット環境の利用
- ・集団運動療法のための大府養護学校体育館の利用
- ・介護等体験(中京女子大学、愛知学院大学短期大学部、愛知大学学生)のセンター見学
平成16年9月10日から10回にわたって大府養護学校職員の随伴でセンター内を見学。

8) センター職員の参加した学校行事

- 平成16年4月6日(火) 平成16年度入学式
平成16年10月1日(金) 平成16年度運動会
平成15年11月11日(木) 平成16年度文化祭
平成17年3月4日(金) 平成16年度卒業証書授与式